

選手がさわやかな汗を流した車いすテニス大会



【江別】第10回北海道車いすテニス大会(実行委主催)が19、20の両日、道立野幌総合運動公園(西野幌)で開かれ、障害を持つ道内外の選手23人が汗を流したほか、健常者の選手14人も加わり、競技を通じて交流を深めた。

車いすテニスは2バウンドの返球が認められている以外は、普通のテニスとルールは

車いすテニス 健常者も交流 江別で大会 道内外から参加

同じ。道内で競技選手は20、30人といい、大会は競技のすそ野を広げる狙いもある。

2日間で男女のシングルス、ダブルス、健常者による男女チャレンジ部門が行われた。女子シングルスで優勝した深川出身の上野実穂選手(29)＝神奈川県＝は「道内の競技者がもっと増えてほしい」と話した。ほかの種目の優勝は次の通り。(敬称略)

▽男子シングルスA 橘伸宏▽同B 近藤和人▽同C 高橋裕三▽チャレンジオープン 和田祐弥▽チャレンジウーマン 大坂真澄▽ダブルス 三沢英司・吉川守